

— 第1回東海北陸厚生局
地域包括ケア市町村セミナー 資料—

「元気づくり」は「地域づくり」!

—「地域力を活かした住民主体の地域づくり」
に関するいなべ市の取組み—



平成29年1月20日

三重県 いなべ市役所
福祉部 長寿福祉課

本日の内容

- 1 いなべ市の概要
- 2 元気づくりシステムの概要
- 3 元気づくりシステムの効果
- 4 元気づくりシステムの評価・検証
- 5 元気づくりシステムを活用して
- 6 元気づくりシステムの見える化



いなべ市のゆりキャラ
「うめぼ～や」

1いなべ市の概要



いなべ市農業公園
(梅林公園)



いなべ市
【三重県の北の玄関口】



伊勢神宮



平成15年12月1日 4町が合併
4庁舎に部署を分け執務
・面積 約 220km²



いなべ市ホームページ

1) 人口、高齢化率

人 口 45,965人

65歳以上人口 11,656人

高 齢 化 率 25.36% (平成37年 28.1%)

2) 介護認定者数、認定率

認 定 者 数 1,887人

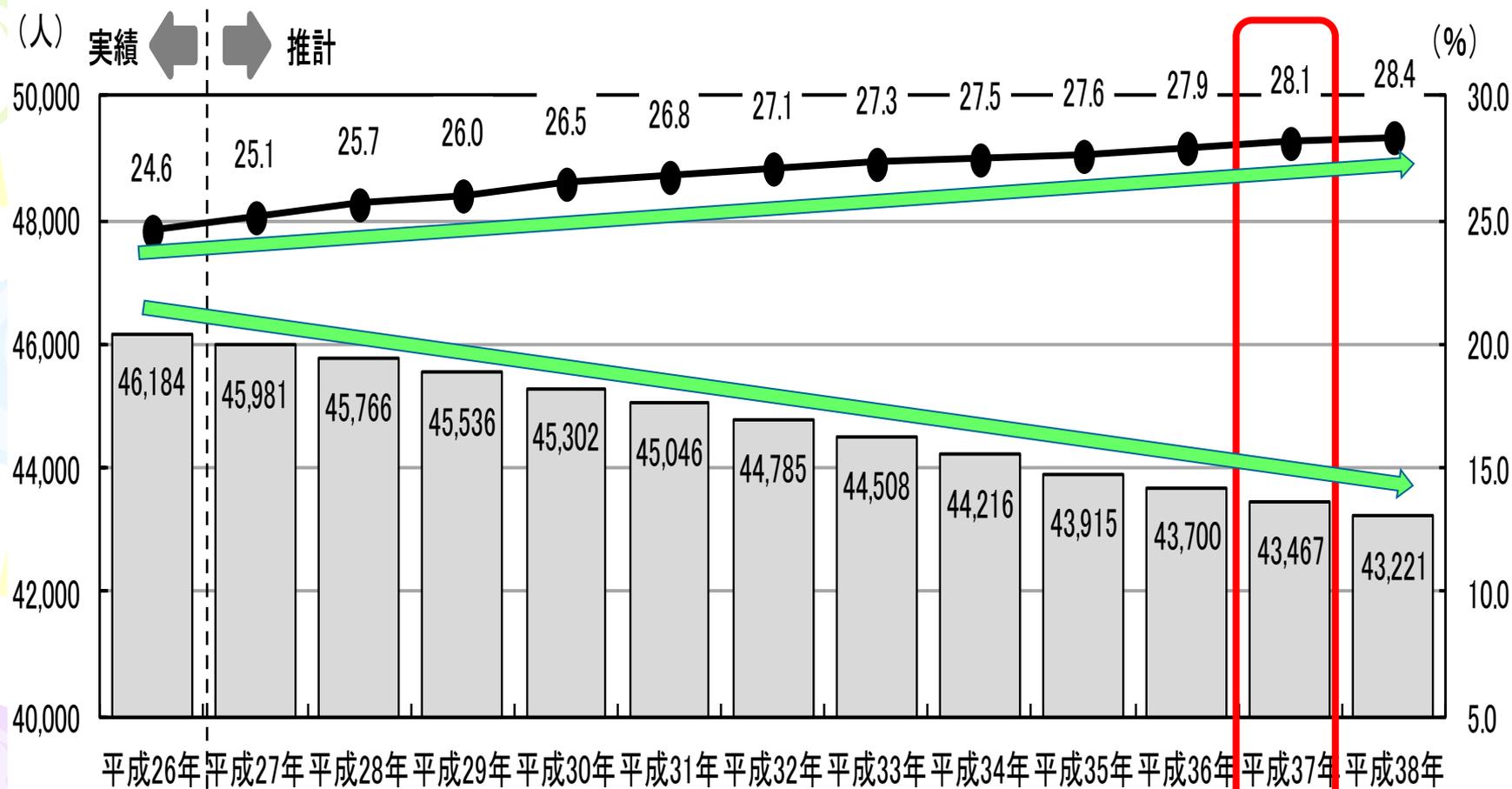
認 定 率 15.8%

3) 介 護 保 険 料 5,426円 第6期基準月額

第5期介護保険料 3,819円

(全国平均5,514円 ・ 三重県5,808円)

いなべ市の総人口と高齢化率の推計



総人口
 高齢化率 (%)

いなべ市高齢者福祉計画及び第6期介護保険事業計画から

2 元気づくりシステムの概要



健康増進・介護予防（運動器機能向上）事業

いなべブランド事業

【元気づくりシステム】

元気づくりシステムは、ストレッチ体操、ウォーキング、ボール運動などを取入れた健康増進、介護予防体操です。介護予防体操は、運動器の機能向上を主な目的とした体操で「一般社団法人 元気クラブいなべ」のオリジナルです。コースは、大きく分けて「①拠点コース」、「②集会所コース」、「③元気リーダーコース」の3コース。

- ①拠点コース(通所型) ... 市内の体育館などの4施設(旧町毎)で週2回、1回2時間程度の運動を実施
- ②集会所コース(出前型) ... 専門コーディネーターが、集会所へ出向き、運動を中心に1回90分間、週2回6か月間実施（平成28年3月末 現在で 地区実施）
- ③元気リーダーコース(自主型) ... 集会所コースを30回以上参加した人が「元気リーダー」となり、集会所コース終了後も、引続き集会所でストレッチ体操、ウォーキングなどの指導者となって活躍
平成28年3月末現在で元気リーダーコースは、77地区・元気リーダーは、557名となっています。



全国健康づくりサミットで、元気リーダーによる体操を披露【いなべ市北勢市民会館で】

いつでも、どこでも、誰でも、
無理なく続けられる体操。
90分間、週2回、運動生理学に基づく運動

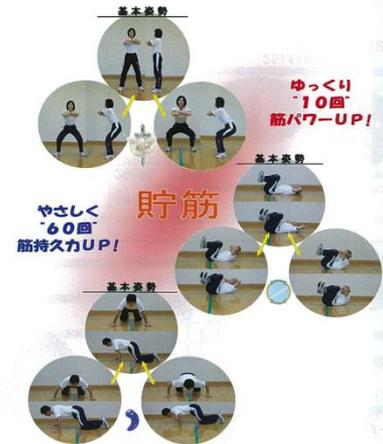
【3種類の基本体操】

- ・準備と整理体操 → 「まいまい運動」
- ・筋力アップ体操 → 「3種の神技」
- ・ストレッチ体操 → 「5呼吸
10種のストレッチ」

元気グッズ



3種の神技⁺



5呼吸10種のストレッチ (立位)



5呼吸10種のストレッチ (座位・寝位)



【基本体操以外】

- ・ウォーキング
集会所毎に、2km～3kmのコースを設置
- ・レクリエーション
風船バレーボール
風船バトミントン ・ 歌 ほか
- ・休憩時のお話会 ← **とっても重要です**

計画

元気づくり体験

- ・楽しむ拠点コース
- ・にこやか集会所コース
- ・健康の駅コース

ストレッチ・ウォーキング・ボール運動を行い、気持ちよく汗をかき、思いっきり笑い、みんなで楽しむプログラムです。

通所型



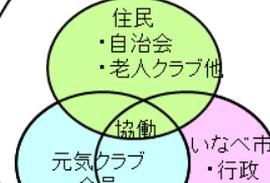
楽しく習慣化へ！

「元気づくりシステム」の概要 (いなべモデル)

『元気づくりシステム』とは、市の公共サービスを安定的に提供するため、さらには、このモデルを全国へ発進し、モデルとなるよう、産官学民(いなべ市、元気クラブ、学識経験者等)で協働して創りあげた、健康増進と介護予防対策の対策システムです。

いつでも！どこでも！だれでも！参加型へ！

対策



藤原地区

出前型 (集会所)

20年度前期	地区名	月	火	水	木	金
集会所コース	石川 川合 藤立	●	●	●	●	●

健康の駅コース	健康の駅コース	月	火	水	木	金
高尾 山口 下野尻 木原 上野原 藤原	●	●	●	●	●	●

★自主型 (元気リーダー)

北勢地区

出前型 (集会所)

集会所コース	川原 南中原 坂内	月	火	水	木	金
●	●	●	●	●	●	●

健康の駅コース	健康の駅コース	月	火	水	木	金
ふじわら高齢者 活動支援センター (フォローアップ)	●	●	●	●	●	●

★自主型 (元気リーダー)

通所型



員弁地区

出前型 (集会所)

集会所コース	藤原 大泉新田 北金井	月	火	水	木	金
●	●	●	●	●	●	●

健康の駅コース	健康の駅コース	月	火	水	木	金
ふじわら高齢者 活動支援センター (フォローアップ)	●	●	●	●	●	●

★自主型 (元気リーダー)

大安地区

出前型 (集会所)

集会所コース	山登 鹿金井 石橋下	月	火	水	木	金
●	●	●	●	●	●	●

健康の駅コース	健康の駅コース	月	火	水	木	金
ふじわら高齢者 活動支援センター (フォローアップ)	●	●	●	●	●	●

★自主型 (元気リーダー)

通所型



効率・効果的な水平展開

★「健康の駅」「拠点コース」の参加料金
市民 200円
元気クラブ会員 100円
その他 500円
※「集会所コース」は無料※料金は1回の料金



元気バス (地域バス)

健康の駅

運動コース (心臓病コース)	月	火	水	木	金
午前 10:00-11:00 午後 13:00-14:00 ※10月からは集会所の自主コースへ転換	●	●	●	●	●

地域住民自らのフォローアップ

産官学民での検証へ！

実施

一歩一歩！！
確実に元気になる！！
いよいよ6月から『元気づくりシステム』が機能します。

確認 (評価)

「元気づくり体験」事業をいなべ市(社)元気クラブいなべ・日本大学水戸教授(学識経験者)の協働により事業の確認、評価を行い、適切に効果的に実施していきます。

健康増進・介護予防の一体化事業として展開 「元気づくりシステム」への進化

H14. 4月

通所型(体育館等で行う拠点コース) 市内4か所実施

元気づくり
体験

・運動づくり体験をとおして、身体を動かすことを生活に取り入れ健康度を高めるきっかけづくり。

H19. 4月

出前型(自治会の集会所等へコーディネーターが出向き実施) 市内120か所

住民のマン
パワーを引き
出す

・地域資源を活用し、身近な場所で身近の人と仲間意識を高め、運動を生活習慣に取り入れる。

H20. 10月

自主型(元気リーダーを中心に自主的に運動を実施) 72か所で実施

地域コミュ
ニティーの
創生

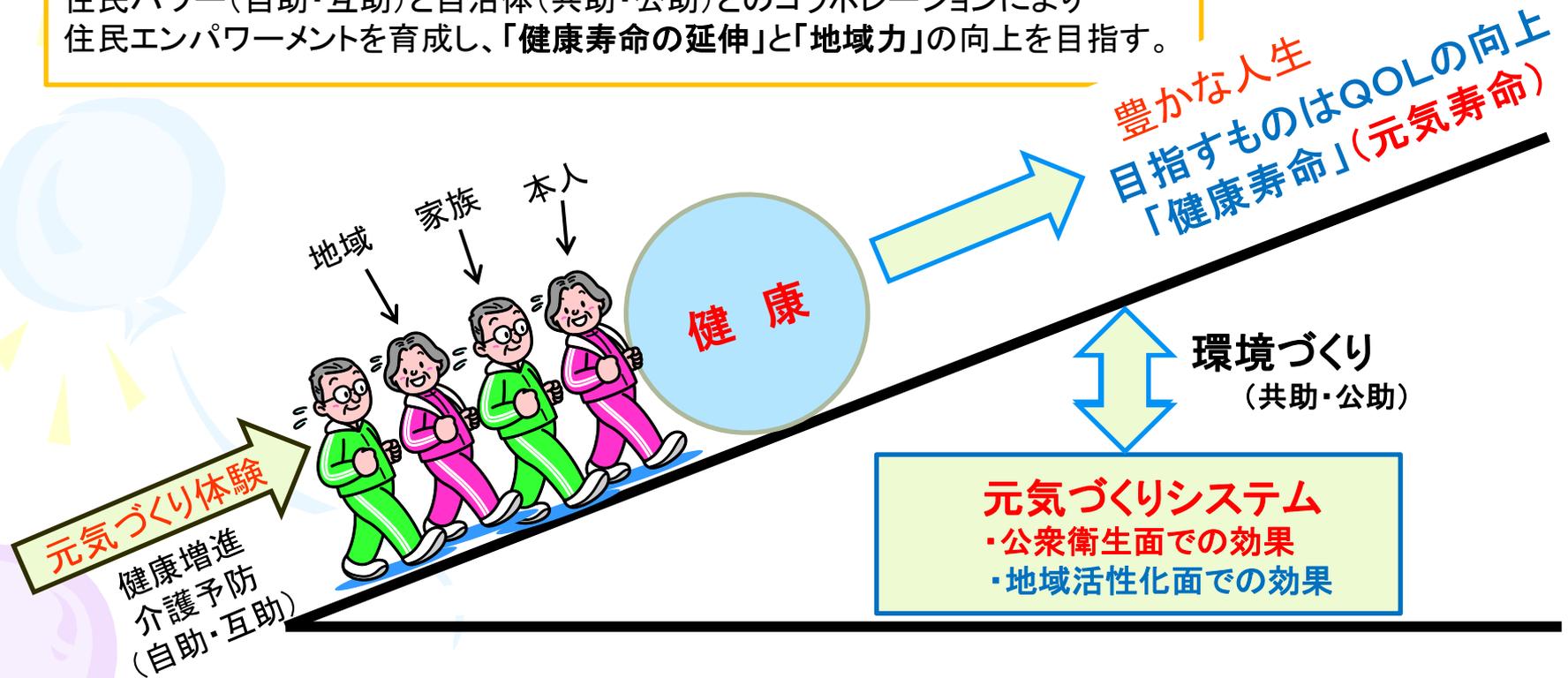
・集会所の修了者の中から元気リーダーを育成しリーダーを中心に、運動習慣の継続と新たな地域のつながり創生につながっている。

地域づくり・まちづくりへ

ヘルスプロモーションを活用した地域力UPシステム “元気づくりシステム(いなべモデル)”

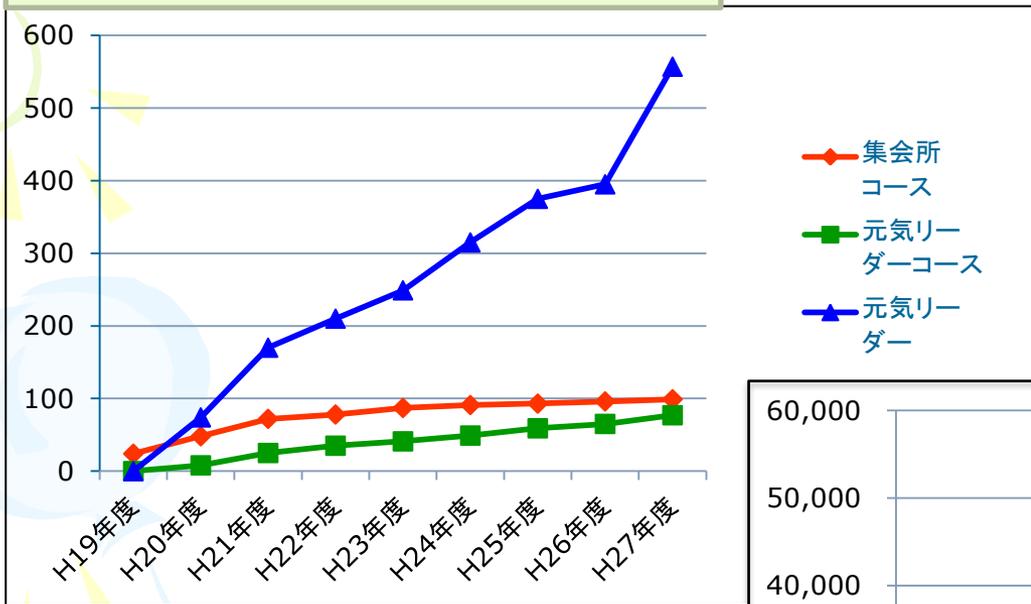
【ミッション】

住民パワー(自助・互助)と自治体(共助・公助)とのコラボレーションにより
住民エンパワーメントを育成し、「健康寿命の延伸」と「地域力」の向上を目指す。

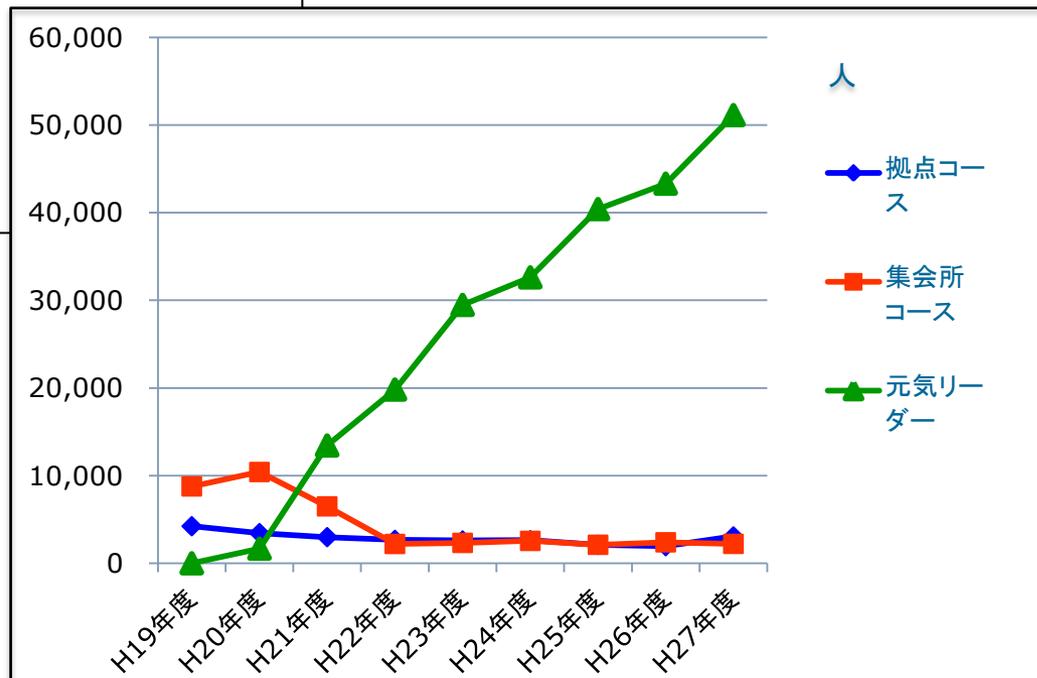


3 元気づくりシステムの効果

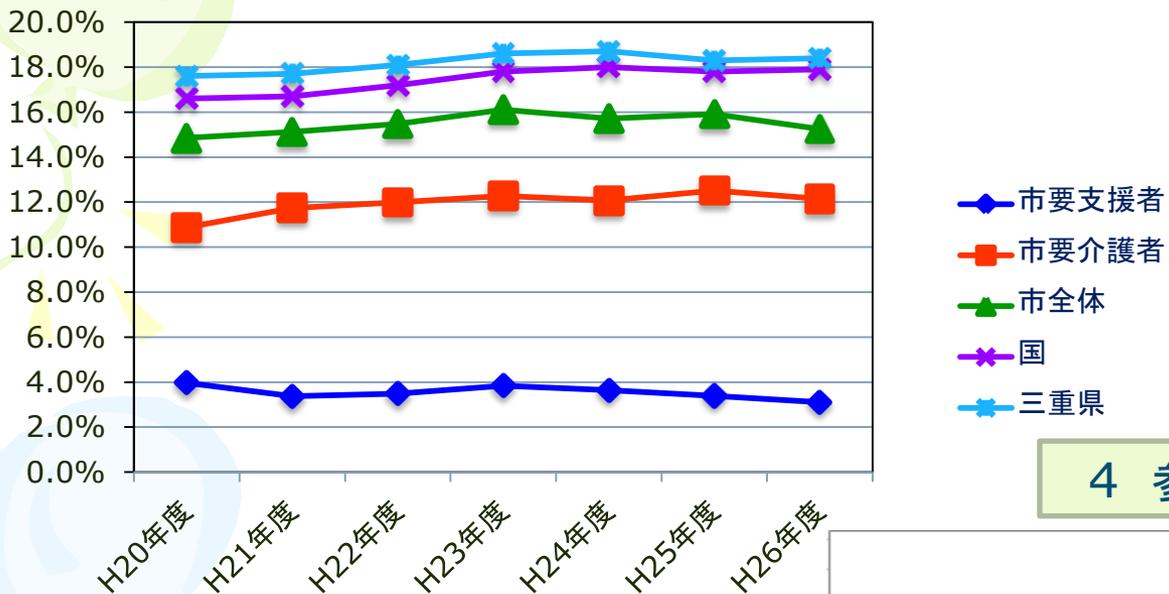
1 元気リーダー等の推移



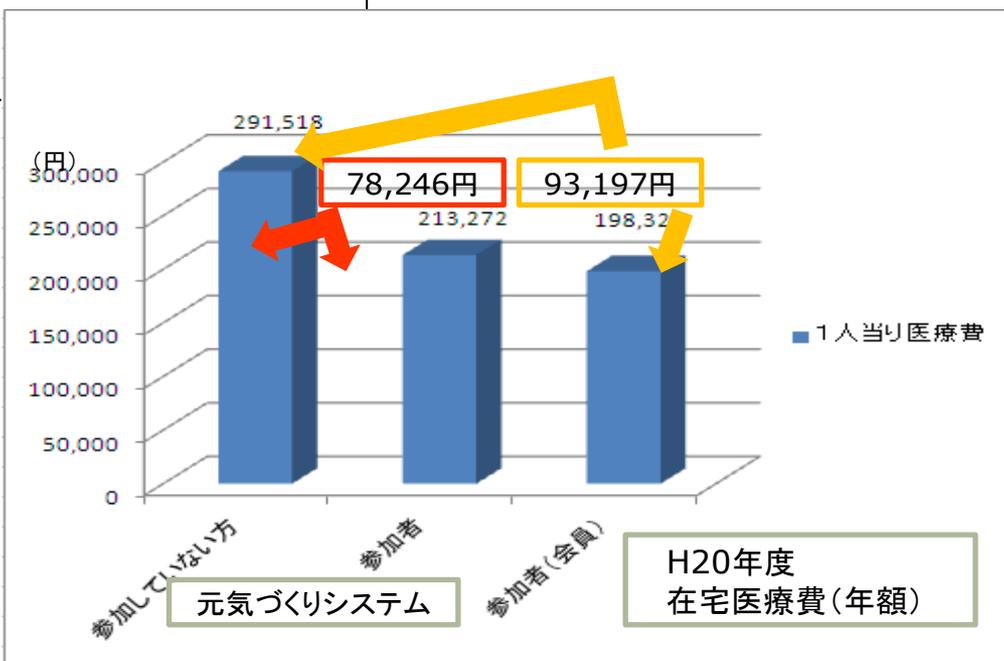
2 参加者数の推移



3 介護認定率の推移



4 参加者1人当りの国保医療費



「元気づくりシステム促進事業」に関する調査結果報告書 概要版

(H24年度 総務省委託事業 定住自立圏モデル事業)

元気づくりシステムのポイント

住民の力を活用した「元気づくりシステム」の運用によって、高齢者を中心とした健康増進活動を進めながら、医療費抑制、医師負担軽減、地域活性化の対策を展開します。

10年を越える歳月を経て
つくりあげたシステム！

「全3型6コースプログラム」

通所型

・健康の駅コース ・楽しむ拠点コース

出前型

・にこやか集会所コース ・地域出前コース

住民自主型

・にこやか集会所元気リーダーコース

・楽しむ拠点スポーツリーダーコース

行政 連携 専門家
システム検証・進化
事業支援・情報共有

民間・団体
「元気クラブいなべ」

元気リーダー養成
元気リーダーのフォローアップ

元気リーダーが、
市内各地域の集会議場で実施

連携 近隣市町
全国の先進自治体
全国の先進団体

※いなべモデルの取り組みが
スタートしています

元気づくりシステムの概要

市から委託を受けた(社)元気クラブいなべの専門コーディネーターが、市内の拠点や地域の集会所でストレッチ、ウォーキング、ボール運動など実施。

この参加者にプログラム普及の専門リーダーとしての研修を実施し「元気リーダー」を養成。

元気リーダーは地域に戻って地域の仲間を募り、地域の集会所で習得した元気づくり体操プログラム（10名から30名程度の規模、原則週2回）を実施。

実施にあたっては、各地域の自治会と連携協働することで、老人会を含めた地域住民の横断的な交流を活性化させ、事業として水平展開する。

市内、近隣市町への普及、全国への普及
(研修プログラムの活用)

少子高齢化における
様々な課題を改善する突破口に！

高齢者像や地域のあり方に明るい展望を！

超高齢化社会における
新しい文化や価値観を生みだし、
子どもたちの未来にも希望の光を！

平成24年度作成のDVD、調査結果や成功地区事例活用

公衆衛生面での効果

- 受診回数減少（約2割）
- 医療費抑制（約2割）
- 健康数値向上
- 中核病院のサロン化改善
- かかりつけ医の浸透
- 受診行動の変容

地域の診療所等

中核病院

各地域で活動

健康増進の実感
やりがい
仲間との交流

自治会

老人会

地域活性化面での効果

- 元気高齢者の増加
- ネットワークの発生
- 地域活動の発生
(子育て支援・防犯活動、
災害時の相互支援 等)
- 互助的見守り機能 等

さまざまな分野の課題を
一体的に改善！

今後は活動が浸透していない地域や、医師への理解促進を

1 公衆衛生的な価値

多様な効果が現れています！

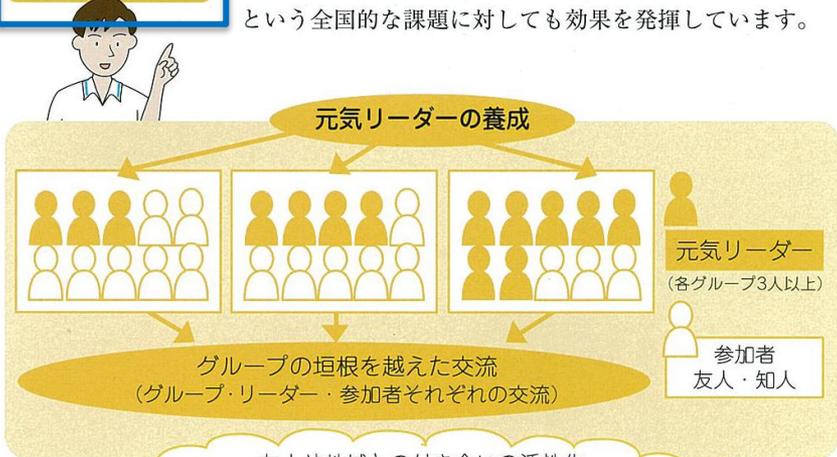
全国的に少子高齢化による医療費や地域医療現場への負担が増加していますが、元気づくりシステム参加者の状況を見ると、様々な項目で注目すべき成果がみられています。



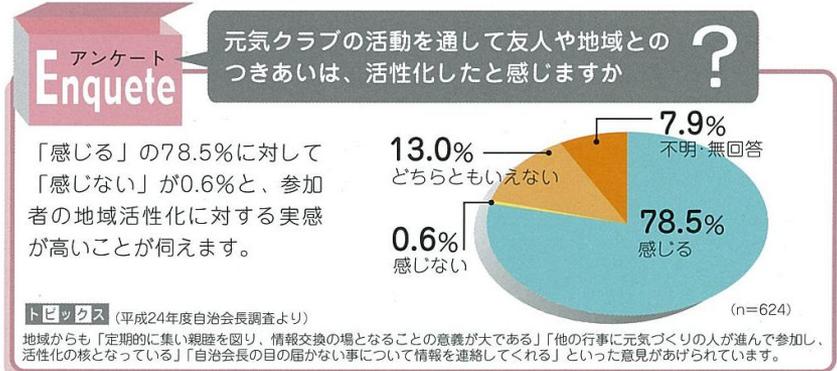
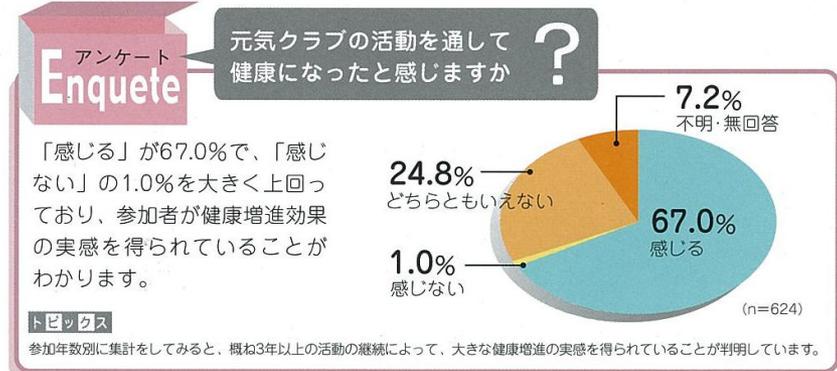
2 地域活性化の効果

新たな社会活動への波及効果が！

「元気づくりシステム」は単なる健康増進活動ではありません。参加者によるネットワークをとらして社会活動が生まれ、少子高齢化、核家族化、地域コミュニティの希薄化という全国的な課題に対しても効果を発揮しています。



子育て支援、防犯活動、災害時の相互支援(要援護者支援含む)、高齢者の相互見守り機能など

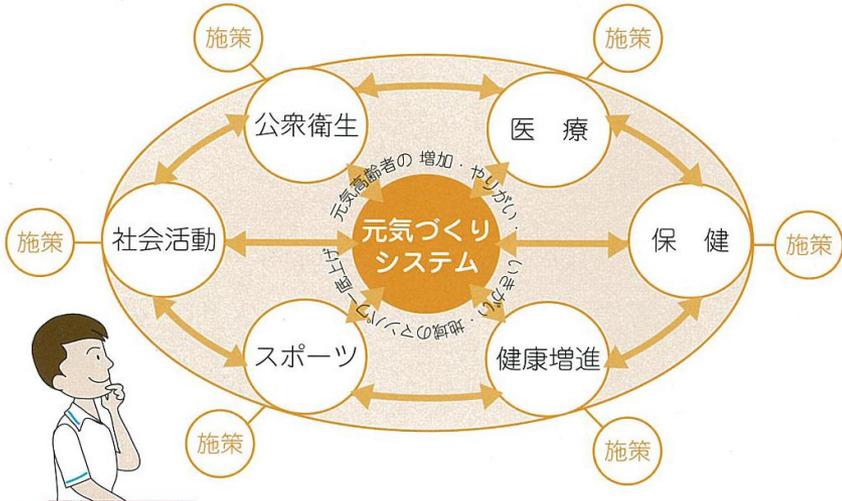


3

公共的な価値

多くの分野に相乗効果が！

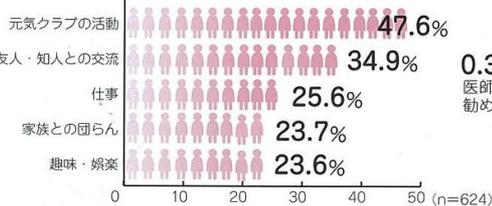
従来の行政における縦割りの構造では、それぞれの分野において施策が進められており、総合政策として一体的に事業を推進することが難しいという課題を抱えていました。「元気づくりシステム」の価値は、本格的な少子高齢化社会を迎えた我が国が直面する様々な社会問題において、多方面に効果がみられる点にあります。そして参加者が主体的にやりがいを持って活動を行うシステムが、10年に及ぶ活動や検証を経て構築されており、モデル性の高いものとなっています。



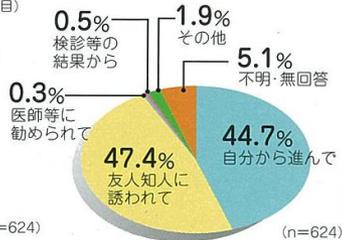
アンケート Enquete

やりがいを
感じることは何ですか？

(複数回答：上位5項目)



元気クラブ活動参加の
きっかけは何ですか？



元気づくりシステムのこれから



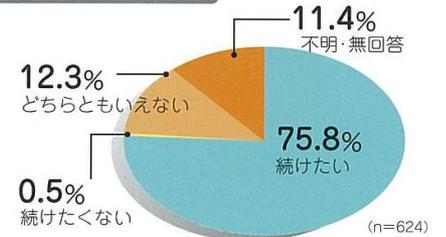
「元気づくりシステム」を推進するためには、医療費抑制や健康増進効果、社会活動数の増加などにみられる成果の先に「やりがいや生きがい、幸せ」といった参加者の実感が存在し、主体的に活動が推進されることが大変重要となります。これが継続意欲にもつながり、持続可能な取り組みとなるのです。



アンケート Enquete

今後も活動を続けたいですか？

「続けたい」の75.8%に対して「続けたくない」は0.5%であり、元気づくりシステムの継続性の高さがうかがえます。



さらに…

今後も活動を続けたい元気リーダーは**97.8%**!

(平成24年の元気リーダー調査)

「元気づくりシステム」の要として、各地域で活動を牽引する元気リーダーについては、情報交換会や講習会など、フォローアップの仕組みができています。今後、参加者の高齢化や時流に合わせたシステムの進化等がなされた場合も、この仕組みを通じて元気リーダーが参加者に情報を共有していきます。



4 元気づくりシステムの評価・検証

第3回 健康寿命をのばそう！アワード【介護予防・高齢者生活支援分野】 いなべ市「元気づくりシステム」 厚生労働大臣「優秀賞」受賞！ H26.11.18



健康寿命をのばそうアワード

厚生労働大臣優秀賞

企業部門

団体部門

自治体部門

自治体部門 優秀賞



取組名 **元気づくりシステム**

受賞者 **三重県いなべ市**

所在地 ●〒511-0292 三重県いなべ市大安町大井田2705番地
電話 ●0594-78-3520 (担当課 福祉部長寿福祉課)
U R L ●http://www.city.inabe.mie.jp/

地域概要 [三重県いなべ市]

最寄りの活動拠点：〒519-0101 津市本町
総人口：45,664人
65歳以上人口：10,282人 (22.5%)
75歳以上人口：15,227人 (11.4%)
一級支庁数：15,954世帯
高齢者割合率：9.36世帯 (5.9%)
高齢者男女比率：1,497世帯 (9.4%)

キーワード 出前講座の実施、運動習慣の醸成、元気リーダーの養成、地域コミュニティの創出

取組の背景・経緯

地域のマンパワーを最大限活用した健康づくり事業

いなべ市では、市民が気軽にスポーツに親しみ、身体を動かすことを生活に取り入れ健康度を高めるため「一般社団法人元気クラブいなべ」を設立し、元気づくりシステムを展開している。平成19年度には各地区の集会所等への出前型で健康増進・介護予防事業を開始。この事業を卒業した方々のうち希望者を地域の元気リーダーとして育成し、仲間意識を高め、運動習慣の継続と新たな地域のつながり創出を目指すものである。

取組の概要と特徴

リーダーを中心に無理のない運動習慣づけと地域ボランティア活動

専門コーディネーターである健康運動指導士が、各地域で半年間の集中体験型研修「にこやか集会所コース」を実施。修了者の中から元気リーダーを育成し、リーダーを中心に「元気リーダーコース（自主型）」として地域で仲間を募り、集会所等で週2回の運動を行うシステムとなる。「一般社団法人元気クラブいなべ」は後方支援として定期的にフォローアップ。平成25年度末現在、市内120自治会のうち93地区で「にこやか集会所コース」を実施済みで、この内60地区の集会所で「元気リーダーコース」として活動しており、374人も元気リーダーが活躍中。

地域のマンパワーを活用したこのシステムで、地域がひとつになって一人ひとりの健康をつくる、そして一人ひとりが元気になり地域も元気になる。また、さらに自分たちの健康づくりだけでなく、ボランティアとして介護予防・見守り・災害支援・子育て支援等の地域活動も始まり、地域コミュニティの創出につながっている。

取組の成果

仲間と楽しく活動し、体も心も生き生きと健康に

元気づくりシステム参加者は平成25年度で延べ41,019人。定期的な運動や活動は生活リズムを整えるだけでなく、仲間との外出機会をつくり、心身の健康維持を実現している。

具体的には、果物をひきにくくなった、腰痛や膝痛等の改善、要介護状態から介護保険認定非該当までの改善も見られた。生活や気持ちに張りが出てきたという参加者も多いうえ、参加者が元気リーダーとしてサービス提供側になることで、高齢者の生きがいや役割創出にもつながっている。



自治体部門 優良賞



取組名 **通所型予防サービス (ふれあい処北社)**

受賞者 **山梨県北杜市**

所在地 ●〒0408-0188 山梨県北杜市奥玉町大豆生田961-1
電話 ●0551-42-1336

地域概要 [山梨県北杜市]

最寄りの活動拠点：市内の地域センター
総人口：46,968人
65歳以上人口：14,639人 (31.2%)
75歳以上人口：7,892人 (16.8%)
一級支庁数：18,254世帯
高齢者割合率：2,265世帯 (12.4%)
高齢者男女比率：2,039世帯 (16.1%)

キーワード 公営経営の通所型予防サービス「ふれあい処北社」の開催、市直営の地域包括支援センターによるケアマネジメント

取組の概要と特徴

高齢者の外出や交流の機会を広げる多彩な取り組み

二次予防対象者及び要支援者を対象に、会話や創作、体操等を行う通所型予防サービス「ふれあい処北社」を市内複数の場所で展開。ボランティアにより運営され、ケアマネジメントは市直営の地域包括支援センターが行う。

また、生活支援サービス「あんしんお届けサービス」は、二次予防対象者及び要支援者で、外出頻度が少なく地域との交流機会のない方等が対象。井田業者等が配達サービスを実施する際、安否確認の声かけをし、異常時は連絡を義務づけている。参加事業者と地域包括支援センターは定期的に連絡会を設けており、情報や意見を交換することで課題の早期把握と解決を図っている。



自治体部門 優良賞



取組名 **認知症カフェ (えいとカフェ)**

受賞者 **高知県高知市**

所在地 ●〒780-8571 高知県高知市5丁目1-45
電話 ●088-823-4014
E-mail ●kc-120900@city.kochi.lg.jp

地域概要 [高知県高知市]

最寄りの活動拠点：総合福祉センター
総人口：343,939人
65歳以上人口：79,035人 (23.3%)
75歳以上人口：41,244人 (12.0%)
一級支庁数：150,567世帯
高齢者割合率：16,241世帯 (11.2%)
高齢者男女比率：15,266世帯 (9.3%)

キーワード 認知症カフェ「えいとカフェ」の開催、多様な地域住民の巻き込み

取組の概要と特徴

地域一丸となって人がつながる場をつくる

独居高齢者が多く集く場がない地域において、平成25年より個人宅を借りた認知症カフェ「えいとカフェ」を開催。高齢者支援センターや居宅介護支援事業所のメンバーが企画・運営に当たっている。開催は月に1度のペースで、医師や介護士などの専門職によるミニ講座やレクリエーション、情報コーナー等を設けるほか、介護支援専門員がボランティアスタッフとして毎回参加。利用者が日頃の悩みを相談でき、専門職と地域住民をつなぐ場になっている。認知症に対する地域住民の関心が高まっており、地域での文化交流も広がっている。



健康寿命をのばそうアワード

厚生労働大臣優秀賞

企業部門

団体部門

自治体部門

1 第3回 健康寿命をそばそう！アワード

厚生労働省

介護予防・高齢者生活支援分野で厚生労働大臣「優秀賞」を受賞

・事例を通じて、我がまちの地域包括ケアを考えよう

「地域包括ケアシステム」事例集成 ～できること探しの素材集～

H25年度老人保健事業推進費等補助金 (株)日本総合研究所

2 住民組織活動を通じたソーシャルキャピタルの 醸成・活用の現状と課題 報告書

公衆衛生

※日本公衆衛生協会 研究代表者 藤内修二

3 平成26年度スポーツ政策調査研究

文部科学省

(スポーツの経済効果に関する調査研究)調査報告書

文部科学省調査事業 一般社団法人 長野総合研修所

4 総務省自治大学校

総務省

平成27年度「課題研究用事例教材」とし検証

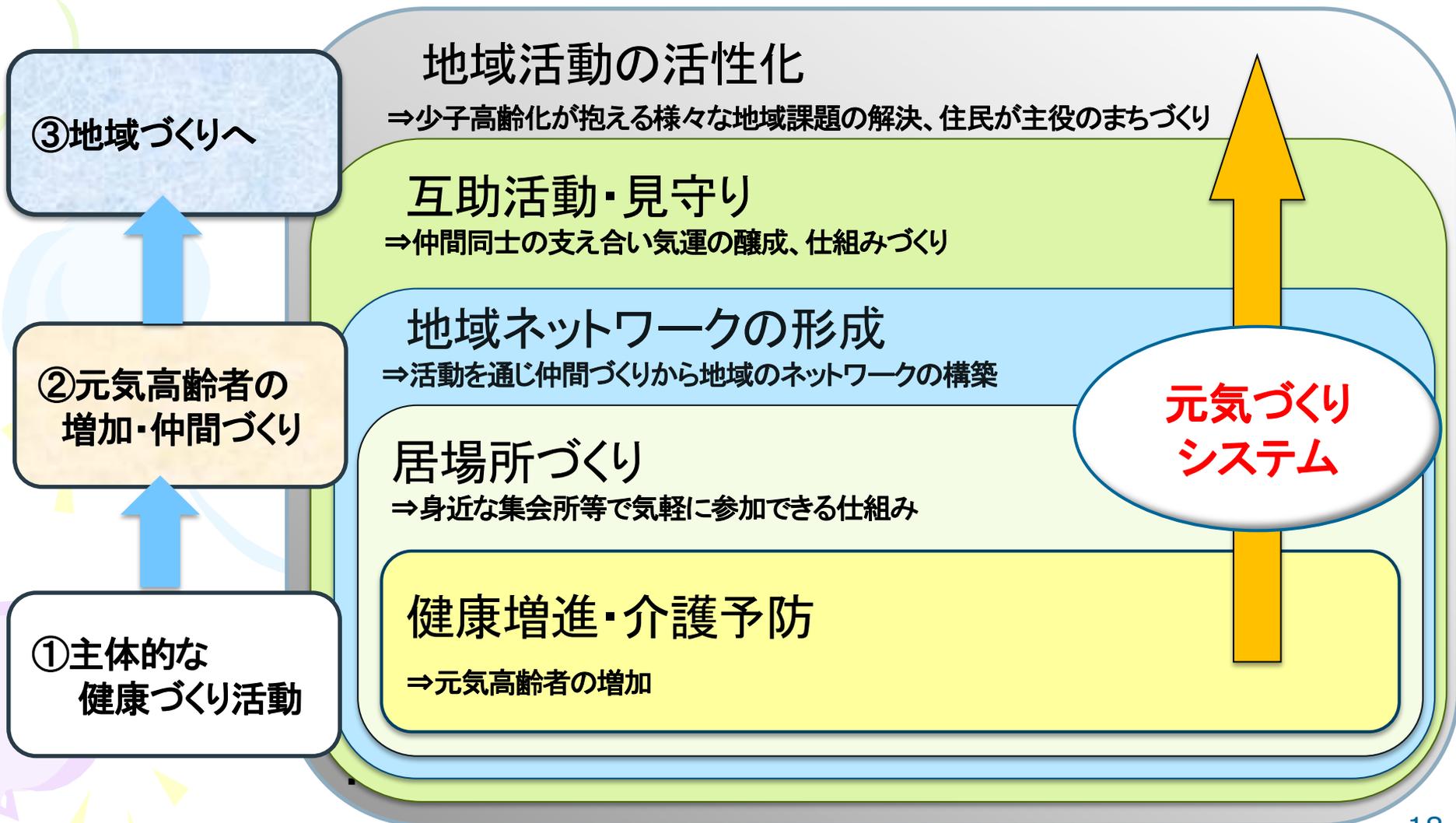
5 その他 ガバナンス(2014.7月、2014.11月)・日経グローバル(2014.3月)

公衆衛生情報(2014.10月)公衆衛生情報(2015.9月)

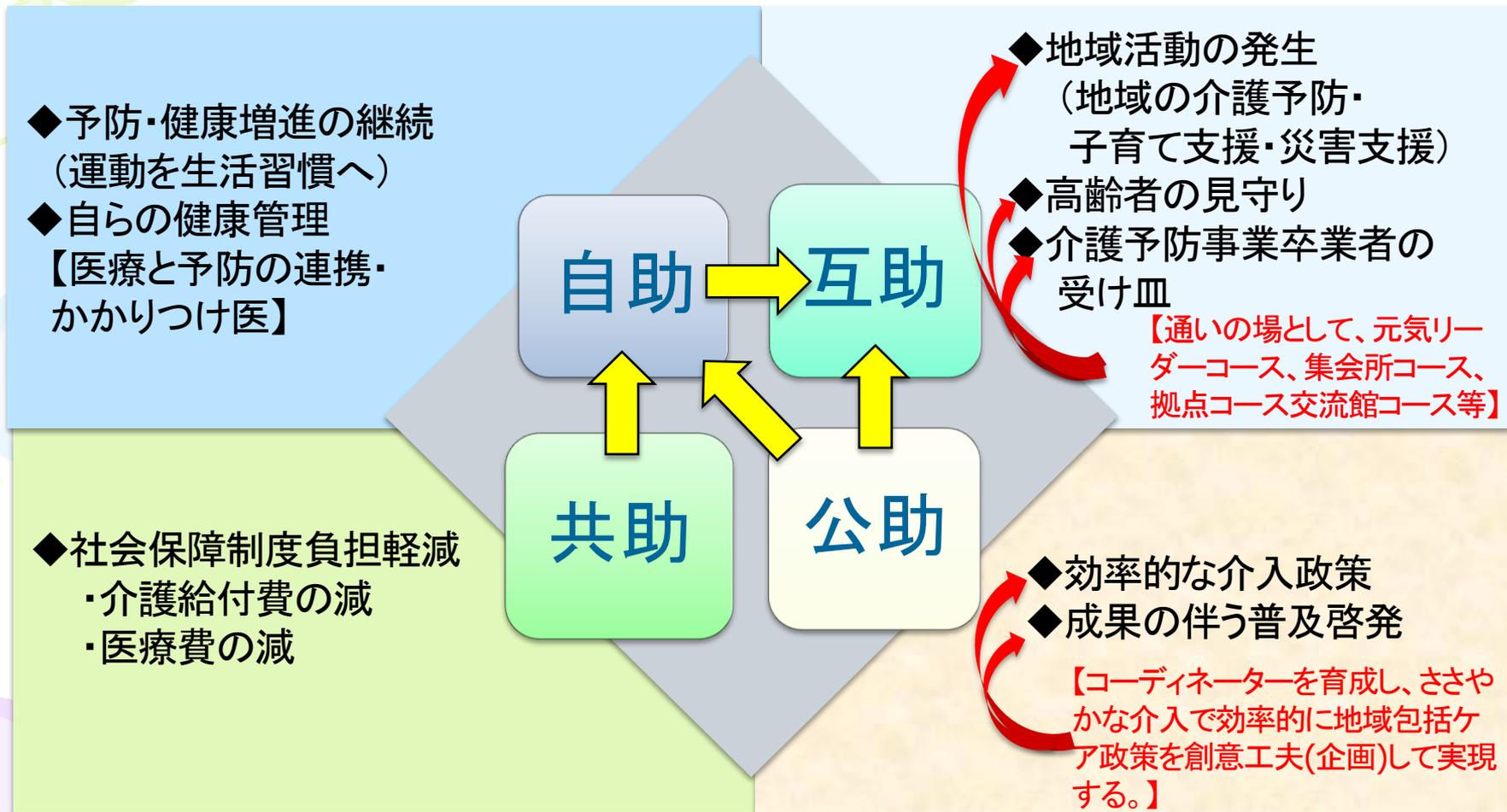


5 元気づくりシステムを活用して

高齢者の健康づくりからはじめる地域活性化のイメージ



「自助・互助・共助・公助」からみた「元気づくりシステム」



少子高齢化や財政状況から「共助」「公助」の大幅な拡充を期待することは難しく「自助」「互助」の果たす役割が大きくなることを意識した取組みが必要。

「元気づくりシステム」を地域包括ケアシステムに活かす

- 「予防」と「生活支援」の体制づくりの基盤として
- 「医療」と「予防」の連携システムとして
 - ▼ ポピュレーションアプローチ
- 地域包括ケアシステムは、「公助」だけで成し得るものではなく
住民が主体的に参加し、自ら担い手となる**互助**のシステムとして
- 「幸せな生活の場づくり」「住まい」のシステムとして

「元気づくりシステム」を活用して さらに

- ➡ 「互助の再構築」「地域力」UPシステムとして
- ➡ 「ケアのまちづくり」のシステムとして
- ➡ 「地域包括ケアシステム」の加速システムとして

「元気づくり」は ➡ 「地域づくり」!

6 元気づくりシステムの見える化へ

「元気づくりシステム」の全国普及

元気づくりシステムを全国に普及することにより、外からの評価を得え更によりよい元気づくりシステムの構築を行うとともに、事業参加者どうしの交流図はかる。

1 元気な地域づくりを考える首長研究会 「一般社団法人 元気なまち協創日本」ホームページより

スポーツには、私たち国民に夢や希望をもたらし、社会を明るく豊かにする力があります。今では身体活動が生み出す貴重な分野(QOL的視野)として、プロスポーツから障害者スポーツ、レクリエーションスポーツ、健康づくり、介護予防活動まで、幅広く様々な参加者にニーズに応えることが可能になっています。本会では、この身体活動の持つ総合的可能性に注目し、豊かな地域づくりのリーダーである首長と現場でがんばる団体による研究と実践を深める研究会です。

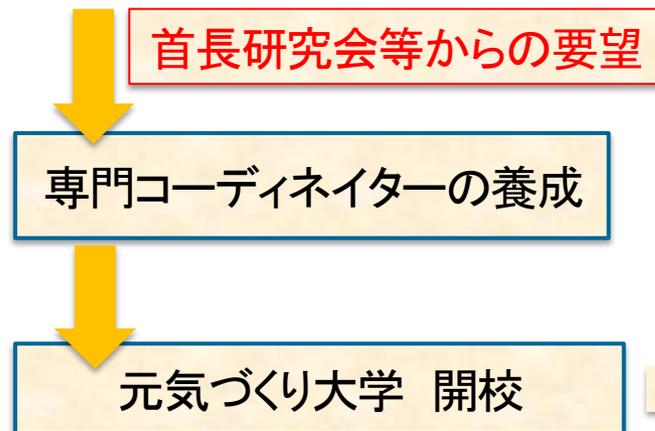
三重県 いなべ市・北海道 二セコ町・福島県 伊達市

広島県 北広島町・熊本県 南関町・鹿児島県 日置市

2 元気づくりシステム実施自治体

- ①熊本県 南関町
- ②広島県 北広島町
- ③福島県 伊達市
- ④三重県 玉城町
- ⑤栃木県 市貝町

※H28年度導入検討市町村数



H26.8.20開校

元気づくりシステムのコーディネーター養成(導入研修)、視察研修

「元気づくり大学」を開設 (H26. 8. 20)

← 「見える化」

ご案内パンフレット

元気づくり大学

人から人へ…時代を超えて伝えたいことがある

過去から

高齢者が増加すればするほど
“地域が”“まちが”活力を増していく!!!
「元気づくりシステム」の全国普及に取り組んでいます!

全国各地で
地域キャンパスを開校

中部地域校
三重県
いなべ市
キャンパス

東北地域校
福島県
伊達市
キャンパス

中国山陽地域校
広島県
北広島町
キャンパス

中九州地域校
熊本県
南関町
キャンパス

大学本校開設 H26. 7~
【本部:三重県いなべ市】
【元気づくり研究地:★】



本大学は、「元気づくりシステム」を先行導入している市町村をOJTキャンパスにして、全国市町村対象にシステム導入研修を実施する。そして、市町村の高齢者健康福祉施策担当者や関連外部団体従業者の人材育成研修(マネージメント能力向上等)を通して、市町村施策の効率化や地域活性化に寄与し、地域を元気にすることを目的として活動する。また、その目的に資するため、次の事業を行う。

- ① 元気づくりシステムに関する研修事業(視察研修)
- ② 元気づくりシステムのコーディネートに関する研修事業(導入研修)
- ③ 健康増進、介護予防に関する健康啓発研修事業
- ④ ソーシャルキャピタルを活かしたヘルスアップ体験に関する研修事業
- ⑤ 前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業

発行：一般社団法人 元気づくり大学
〒511-0504 三重県いなべ市藤原町川合790
TEL. 0594-46-2170 FAX. 03-6800-3327

編集協力：(株)ジャパンインターナショナル総合研究所

発行年月：平成27(2015)年10月

元気づくり大学の人材育成カリキュラム

- 元気づくりシステムコーディネーター養成
- 元気づくり大学による管理&フォローアップ、全国導入自治体との連携、コーディネーター育成

視察研修



元気づくり
導入研修
パッケージ化された
事業受託

フォロー
アップ
研修



元気づくりシステムの基本と原則

ビジネスツール・公衆衛生ツール・MCCE



政策化



チャレンジ



※ 導入後は、管理&フォローアップをいたします。

- 10 「元気づくりシステム」の商標使用 《パッケージ⑩》
- 11 キャンパスフォローアップ 《パッケージ⑪》 があります。

なお、導入品質の確保を図るため、1名につき最低30日間の導入研修を義務化いたしますのでご注意ください。

システム導入例
1年で導入し
2年目から
成果(アウトプット)が
現れる

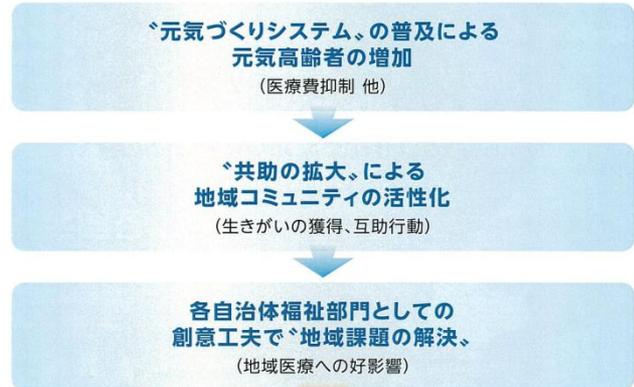
6か月

6か月

2年目以降

元気づくりシステムの運用について

高齢者が元気づくりを楽しむ仕組みをつくることで
地域の集会所などが、**幸せな生活の場**となり
◇**共助の拡大**、が起こります。



多様な自治体政策間の垣根をこえて
未来の可能性が広がる

地域特性に応じた様々な波及効果の創出



優秀賞
受賞

TOPICS

厚生労働省「健康寿命をのぼそうアワード」優秀賞受賞!!

平成26年度に、構築運用しているいなべ市が「第3回健康寿命をのぼそうアワード」(介護予防・高齢者生活支援分野)で厚生労働大臣自治体部門優秀賞を受賞しました。

ご清聴ありがとうございました。



いなべブランド事業



いなべ市ホームページ

